

教育委員会定例会（平成24年11月）会議録

1 日 時	平成24年11月14日（水）15:00～17:20
2 場 所	新居浜市庁舎5階 大会議室
3 出 席 者	委員長 伊藤 嘉秀 委員 宮内 文久 長野 美和子 三木 由紀子 教育長 阿部 義澄 事務局長 寺田 政則 総括次長 藤田 秀喜 次 長 坪本 道夫 坂本 睦美 課 長 曾我 幸一 渡辺 環 木村 和則 伊藤 繁次郎
4 教育長の一般報告	教育長の報告 10月分行事報告及び11月分行事予定について その他
5 記録者氏名	社会教育課 竹林 栄一
	<議 案> 議案第31号 平成24年新居浜市教育委員会点検・評価報告書について 議案第32号 平成25年度新居浜市立別子小中学校にかかる要望について <いじめ、不登校等生徒指導関係について> <その他> (1) 中学校選択制の申請状況について (2) 学校給食費の未納状況について

伊藤委員長	<p>それでは、定刻がまいりましたので、ただ今から平成24年第11回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、宮内委員さんと長野委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成24年第10回定例会会議録の承認につきましては、三木委員さんと宮内委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>6日 高齢者生きがい創造学園グラウンドゴルフ大会が運動日和の中で、講座生・サークル会員、職員等約250人が参加して団体戦・個人戦が、友情と親睦を深めての交流が行われました。</p> <p>「あかがね工業博2012 究める技、こだわる人、ものづくりの町 愛媛・東予地区」が新居浜高専を会場として、7日までの期間「“ものづくり”の奥深さ、学んだり感心したり、出会いがいっぱい！」のキャッチフレーズのもとに開催されました。</p> <p>ボーイスカウト新居浜第2団60周年記念式典が開催され、各隊の成果発表やこれまでの活動のあゆみ映像が放映されました。</p> <p>7日～8日 第43回新居浜市民体育祭の競技スポーツの部が、バレーボールをはじめとして25種目において盛大に開催されました。</p> <p>9日 福祉教育委員会が招集され学校施設の環境整備の空調設備・ロッカー・グラウンド排水について説明を行いました。</p> <p>福岡県久留米市市議会の議員さんが、発達支援課へ行政視察として「発達障害の子どもへの一貫した支援体制の整備」についての調査に来られました。また、10日には埼玉県狭山市、31日には西東京市からの視察がありました。</p> <p>10日 多喜浜小学校4年生が塩田ボランティアさんの指導を受けて、塩田学習での塩づくり体験を行いました。</p> <p>教育委員会点検・評価に関する事務事業等説明会が開催されました。今年度の評価委員さんは今井基博・元新居浜市PTA連合会会長、小野トヨミ・元新居浜市教育委員会委員長、松山明子・おもちゃ図書館きしゃポッポ代表の3人の方々です。</p> <p>東中学校区と泉川中学校区の「いじめ対策総合推進事業」指定校でのQ-U合同研修会が開催され、奈良教育大学准教授粕谷貴志先</p>

生による「Q-Uの活用と学級経営」の演題で講演が行われました。

第62回新居浜市美術展覧会の搬入があり、8部門において491作品が出品されました。写真、デザインの部門に中高校生の出品者の増加がみられました。前期展が日本画・書道・デザイン・版画・華道の部で24日から29日まで、後期展が洋画・写真・工芸の部で31日から11月5日まで開催されました。

12日 愛媛県立えひめ学園の秋季運動会が雨天が心配される中、園生の保護者・支援団体からの参加者等の支援を受けて親子の和やかな雰囲気をかもしながら開催されました。

平成24年度中学生海外派遣事業アメリカ訪問団結団式及び壮行会が藤田市議会議長、保護者、学校長が参加して執り行われました。今年度は「The Bonds of Friendship Link the World 絆が世界を結ぶ」をスローガンとして、27日から11月6日までウィスコンシン州フランクリン市の家庭にホームステイし、現地の中・高校での学校生活を送ります。貴重な体験とともに友情の輪を広げてもらいたいものです。

14日 河川敷駅伝コース完成記念を祝しての渡邊高博陸上教室が開催され、小中学生約150人が参加しました。小学1年生から中学3年生までの参加者の能力差がある中で身体の動きづくり、ジョギング、体操、ストレッチ、基本動作、スタート練習等教室が開催されました。元オリンピック選手や陸上コーチとしての体験を通して、わかりやすい実技指導に参加者は熱心に取り組んでいました。

15日 「2012年少林寺拳法全国大会 in かがわ」に県代表として出場することになった、組演部・親子の部横山華・横山由香拳士、女子マスターズの部渡辺和美・藤田清香拳士、小学生の部守谷光生・戸山陽向拳士が市長に報告に来られました。

台風のため、ふれあい体育祭が中止となり、延期されていた平成24年度新居浜市体育功労者表彰式が、市長応接室で執り行われました。加藤進氏（金子校区体育振興会）、野口敏子氏（船木体育振興会）、岡部満代氏（垣生社会体育振興会）、森晴雄氏（新居浜市セーリング協会）、早崎清光氏（新居浜市陸上競技会）の5氏が表彰されました。

20日 平成24年度中学生海外派遣事業アメリカ訪問団の7回目の研修として、本市の交流事業の橋渡し役をしていただいている伊藤幸男氏にアメリカでの学校生活や家庭生活等の説明をして

いただきました。派遣団員や保護者にとって大変参考になりました。

21日 平成24年度第57回秋の芸術祭の第1部が開催され、11月4日までの期間に第5部まで開催されました。

23日 少年消防クラブ防火ポスター展の審査会が開催されました。市内各小学校から678点の応募があり、優秀作品13点や入賞作品20点が選出されました。市長賞には神郷小学校4年生小野竣汰朗さんの作品が選ばれました。少年消防クラブは16の小学校で結成されており、防火ポスター展は昭和50年から38回目となります。11月6日から14日までイオンモールで展示が行われています。

24日 23日の予定でしたが雨天のため延期された、第48回新居浜市小学校陸上記録会が河川敷陸上競技場で開催されました。市内のすべての小学校が参加し、放課後の特別練習などで鍛えられた学校代表の選手たちが熱い思いで日頃の成果を発揮してくれました。当日は天候に恵まれたこともあり、特にトラック競技においては、標準記録を突破する選手が多数見受けられました。その中で、女子100m競技で神郷小学校坪野三咲さんが13,8秒、女子60mハードルで金栄小学校藤本未来さんが9,7秒の大会新記録を作ってくれました。個人種目の4位までの入賞者と400mリレーの上位4校が、新居浜市代表として11月12日の愛媛県小学校陸上記録会に参加しました。

平成23、24年度 愛媛県教育委員会指定森林環境税活用事業「森のようちえん」推進事業実施園研究発表会が新居浜市立王子幼稚園で公開されました。王子が丘の森での活動を通しての公開授業であり、素晴らしい秋空の中で幼児たちの健康な活動に新鮮さを感じることができました。2か年間の取組の活動の様子を矢野千春教諭が行いました。

26日 平成23年度決算に係る決算特別委員会教育委員会関係が開催されました。

27日 新居浜市中学生海外派遣事業アメリカ訪問団「The Bonds of Friendship Link the World 絆が世界を結ぶ」に参加する中学生の出発式が行われ、元気にバスに乗り込んで行きました。これまでの研修を活かして、若い感性のもと、11日間の貴重な体験を積んでいただきたいものです。

28日 新居浜市制75周年記念事業、別子銅山記念図書館開館20周年記念として絵本作家 川端誠氏による「笑顔輝く絵本ライブ」が開催されました。午前の絵本ライブ、午後の講演会に約180名の参加があり、川端氏の自作の絵本の読み聞かせや絵本製作の裏話等子どもから大人まで楽しみました。

にいはまやんちゃKIDS2012が「あつまれ！愛顔^{えがお}のこどもたち」というテーマのもと、山根総合体育館で開催されました。園児や児童が親や祖父母と共に参加し、市内の主任児童委員さん、愛媛県総合科学博物館友の会科学クラブのみなさん、市内の5高校、工業高等専門学校、児童センター地域活動クラブ、まごころの会等の130名のボランティアの協力を得て、用意された17のゲームを楽しんでいました。

身体障害者チャリティー第29回ウエイト制オープントーナメント全日本拳武道選手権大会が市民体育館で開催されました。小学生から成人までの予選を勝ち抜いてきた選手たちの激しい闘いに、日頃の練習の成果と厳しさを感じさせられました。

校区文化祭が浮島・惣開校区で開催されました。

11月1日 子どもたちの健やかな成長を願って、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として制定された「えひめ教育の日」の記念として、「えひめ教育の日推進大会」が松山市エスポワール愛媛文教会館で開催されました。

3日 第27回新居浜市駅伝競走大会兼第56回新居浜市中学校駅伝競走大会が開催されました。上位チームの結果は、中学男子は、1位西中A、2位中萩中A、3位泉川中A、中学女子は、1位東中A、2位西中A、3位東中Bとなりました。男子で優勝した西中学校は、10月14日に開催された河川敷駅伝コース完成記念を祝しての、渡邊高博陸上教室にも参加し、熱心に教えを聞き取ろうとしていた姿が印象に残っています。11月23日の県駅伝大会へ参加するチームには、さらにチーム力の向上を図り、コンディションづくりに配慮して、記録を伸ばしてもらいたいものと考えております。

第62回新居浜市美術展覧会受賞式が開催されました。今年は特別賞として市制75周年記念賞と市美術の発展に多大な貢献をされた日本画廣川岳邦先生を記念しての廣川岳邦記念賞が明比恭子さんの「5月の薔薇」に贈られました。

4日 校区文化祭が多喜浜・船木・大生院校区で開催されました。

秋の芸術祭の第1部が10月21日から開催され、本日の第5部合唱で終了しました。開会に昭和22年に制定された新居浜市歌が、参加者全員の合唱から開始されました。

5日 秋の芸術祭の一環として開催されていた第62回新居浜市美術展覧会が終了し、3,666人の鑑賞者がありました。昨年度よりも272人の増加でした。

第3回児童生徒をまもり育てる日でした。

6日 角野中学校で小野 力教諭による、国語科の校内授業研修会があり参加させてもらいました。班学習での生徒の積極的な活動する姿を見せてもらいました。積極的な学習が展開されるものになるのは、日ごろからの学級づくりにあることを実証してくれたと思いました。

深夜でしたが無事、中学生海外派遣事業アメリカ訪問団が帰着いたしました。相互交流として取り組んでいる国際交流の、アメリカでの支援として、伊藤幸男先生・ケニア先生には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

7日 第61回秋季県展新居浜移動展が11月18日までの日程で開催されています。

8日 第62回全国学校保健大会において角野中学校学校歯科医 直野義信医師に平成24年度文部科学大臣表彰「学校保健及び学校安全表彰」が送られました。

8日～9日 平成24年度市町村教育委員会研究協議会に宮内委員さんが参加されました。感想等がありましたら後ほど報告をお願いいたします

9日 市民文化センター大ホールにおいて、小・中学校音楽発表会が行われました。午前中は小学校の部で、16校の合唱や器楽合奏があり、どの学校も素晴らしい演奏をしてくれました。最後の全体合唱の後、現在ヨーロッパを中心に演奏活動されている、新居浜市在住の阿部一成（かずなり）さんの篠笛の演奏がありました。ステージを暗くしてスポットライトだけの演出により、普段聴き慣れない、神秘的な篠笛の音色（ねいろ）に、児童は静かに集中して聴いていました。午後からの中学校の部でも、別子小中学校の和太鼓の演奏の後、演奏していただき、今までとは違った変化のある音楽会となりました。

10日～11日 県中学校新人大会（バドミントン・剣道）が開催されました。

<p>伊藤委員長</p>	<p>11日 校区文化祭が宮西・金栄・若宮校区で開催されました。</p> <p>12日 県小学生陸上記録会が開催されました。</p> <p>13日 小・中学校教科外研修会が開催されました。</p> <p>その他、11月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>15日 学校保健研究大会（西中学校） 広島県竹原市より視察（こども発達支援センター）</p> <p>16日 ハートなんでも相談員等連絡協議会</p> <p>17日 心理アセスメント勉強会（ふれあいプラザ） 第4回「別子銅山を読む」講座（別子銅山記念図書館）</p> <p>18日 S S T研修会（ふれあいプラザ） 校区文化祭（新居浜・高津・神郷・大島・泉川・中萩・別子山）</p> <p>19日 第2回小・中学校校長研修会（瀬戸会館）</p> <p>20日 新居浜市人権・同和教育研究大会 あすなる教室進路相談会</p> <p>22日 科学奨励賞1次審査会</p> <p>23日 第32回県中学駅伝競走大会兼第20回全国中学校駅伝大会予選会 図書館まつり（別子銅山記念図書館）</p> <p>24日 校区文化祭（角野）</p> <p>25日 校区文化祭（金子・垣生）</p> <p>26日 中高コーディネーター連絡協議会 （こども発達支援センター）</p> <p>27日 東予管内公立幼稚園PTA連合会研究大会 （文化センター） 第2回不登校対策検討委員会</p> <p>28日 第2回地域発達支援協議会</p> <p>29日 学校支援員連絡会（こども発達支援センター）</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p> <p>ありがとうございました。ただ今の教育長さんの一般報告について、何かご質問やご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>私の方から質問させてください。10月18日のS S T研修会のS S Tとは何か教えてください。</p>
--------------	---

渡辺発達支援課長	ソーシャル・スキル・トレーニングです。
伊藤委員長	ありがとうございます。他にご質問がなければ、ここで、11月8、9日に開催されました平成24年度市町村教育委員会研究議会に出席いただいた宮内委員さんに報告をお願いしたいと思います。
宮内委員	<p>東北大震災を受けて、ほとんどが防災教育の重要性、災害時にどう対応するかとの発表が重点項目だったのですが、この中でマニュアルを作るのは当たり前のことだが、災害があった時にはどこで何が起こるかかわからないので避難の三原則という発表がありまして、想定にとられるな、これに対しては判断力を養おう、最善を尽くすということに関しては忍耐力を養おう、率先して避難せよ、自発力を養おうという発表が私にとっては非常に目新しい、興味深いものでした。もう一つは、今度は文部科学省の初等中等教育局山下初等中等教育企画課長の発表が大きなウエイトを占めていたのですが、その中で学校が避難の場としての表現が多かったものですから最後に質問させてもらいました。学校というのは教育の場であるのに避難の場としてどれくらい重点を置いているのかということをお尋ねしたところ、やはりなるべく早く学校を再開してほしいというのが文部省の考えだそうです。学校を早く再開すればするほど家庭は子どもがいない時間帯ができるのでより復興に注力できるだろう、だから災害が起こった時に学校の先生が避難の方達のお世話をすることはやむを得ないので、2～3日はお世話をせざるを得ないだろうけれどなるべく早く行政の担当の方、公民館等にリーダーシップをお渡しして、学校はなるべく再開することに注力してほしいというのが、山下初等中等教育企画課長の発言でした。ただ、企画課長の問題の中に非常に大きな問題があったのは教育委員会のあり方でした。教育委員会としては、たぶん橋下大阪市長の問題、大津のいじめ問題があったので、とにかく教育委員会を活性化して欲しい、ただ話を聞くだけの教育委員会ではなくて活動する教育委員会になって欲しい。その為にも市長とは独立しているけれども自己点検評価を行って欲しい、それから市長との連携、懇談を是非実行していただきたい。ということが企画課長の発言でした。その教育委員会の独立性を守るという意味でも是非教育委員会を活性化していただきたいとのことでした。詳しくは報告書を事務局に提出いたしますので、ご参照ください。以上です。</p>

伊藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議案審議に移ります。議案第31号「平成24年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
藤田総括次長	<p>議案第31号「平成24年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について」ご説明いたします。議案書の8ページをお開きください。新居浜市教育委員会点検・評価報告書につきましては、前回の定例会で報告書（案）をお渡ししておりましたが、今井基博氏、小野トヨミ氏、松山明子氏の3名の学識経験者からご意見・ご助言をいただき報告書を作成いたしました。</p> <p>別冊になっております点検・評価報告書の21ページから30ページをご覧ください。選定した9事業に対し3名の委員からいただいたご意見をそれぞれ列記しております。これらの御意見を踏まえ、教育委員さんから頂いたご意見を基に「評価結果等を踏まえた今後の取組の方向性」を示しております。その他9事業以外にも学識経験者の方から自由意見や総評もいただきましたので、併せて掲載しております。また、自己評価の基準が不明確であるとの御意見が教育委員さんからございましたので、基準を明確にするため評価指標を6ページに記載いたしました。</p> <p>なお、本日議決をいただきますと12月4日開会予定の平成24年第7回市議会定例会に、報告書を提出し、その後ホームページ、窓口等で公表することとなります。なお、市議会へ提出にあたり市長事務局の総務担当課を経ますので、表記を統一するため、多少の字句の修正がある場合がございますので、事前にご了承をいただきたいと存じます。</p> <p>それでは21ページから順に担当課長がそれぞれ説明をいたします。まず、社会教育課からでございます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
曾我学校教育課長	<p>続いて学校教育課でございます。22ページをご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p>
木村スポーツ文化課長	<p>続いてスポーツ文化課です。24ページをご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p>

渡辺発達支援課長	<p>続いて発達支援課です。25ページをご覧ください。 <資料に基づき説明></p>
伊藤学校給食課長	<p>続いて学校給食課です。26ページをご覧ください。 <資料に基づき説明></p>
坂本次長	<p>続いて図書館です。27ページをご覧ください。 <資料に基づき説明></p>
藤田総括次長	<p>それではその他のご意見を私の方から述べさせていただきます。 <資料に基づき説明> 以上で、学識経験者の意見と今後の方向性について発表させていただきました。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の点検・評価の報告書について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p>
宮内委員	<p>発達支援課というのは非常に高い評価を全国的に受けているようなのですが、久留米や狭山からいらっしゃることで、新居浜市の取組というのは全国的な規模から見てどのように評価されているのでしょうか。全国的な評価や位置付を教育長あるいは発達支援課の方で教えてください。</p>
阿部教育長	<p>具体的な事は課長の方からお願いしたいのですが、まず新居浜の特色というのは、教育委員会が発達障がいを持っている子ども達のため発達支援課を運営しています。全国的には福祉部がしているところが多いと思います。発達支援準備室を立ち上げた時、小・中学生または幼児の段階で、やはり小・中学校での関わりが重要であろうという佐々木市長との話し合いの中で、福祉部より教育委員会がしていく方が子どもにとって幸せなのではないかということから取り組みました。また具体的な取組は教育委員会の組織だけではできませんので、保健士さんや福祉で子ども達の相談活動をしていた職員にも教育委員会へ異動をしてもらい、取り組んでいる状況です。具体的には渡辺課長よりお願いします。</p>

渡辺発達支援課長

先ほど教育長からお話ございましたように、地域で共に育ち、学び、働き、暮らす支援の仕組み作りというところを教育委員会に設置したというところが他市と違うというところです。選択の時に、子どもさん一人のライステージを見た場合、義務教育である学童期が一生にすると長い期間であるという事で教育委員会という構想になったということと、また福祉部門から教育部門へのアプローチがなかなか垣根というか、困難な場合が生じることあることから小学校入学の時にスムーズに繋いでいくという事も含めまして教育委員会に設置した体制になりました。それが他市から比べると違うというところもあるかと思われまます。内容につきましても、早期療育支援というのがかなり重要なポイントになっておりまして、モデル事業として保健センターが発達課題の早期発見のためのスクリーニングということで、乳幼児健康診査の時に行っている質問票の内容をM-CHATを使ったこと、その後の経過観察を経て、早期に発見して、早期に治療というフォローアップの体制の充実が図られたというところも先進的な取組だろうと思います。その経過観察児や保護者の支援をこども発達支援センター館内で早期療育支援事業として平成23年度より始めております。また、関係機関との連携が重要であります各機関が縦割りでブツブツ切れる支援ではなく、それぞれの関係機関が一貫して繋がるようなセンター的な機能が発達支援課の特色だと思います。発達支援課が小学校・中学校、その後についても、地域の資源をコーディネートし、ケアマネジメントしていくことが大きな役割だと思っております。そうした取組の一つ一つが、子ども一人を見据えた時に地域でより身近で安心して暮らすことができる支援に繋がっていることが高く評価されていることと思っております。その他、視察を受けた時にご質問いただいた中で素晴らしいと言われていることとして、学校生活介助員さん、学校支援員さん、特別支援学級指導員さん等の学校現場で特別支援教育を支援している職員の支援体制が充実していることが評価されております。また、支援員をしている方達のレベルアップ、研修等もかなり充実していることも高い評価を受けておりまして、手厚い支援が着実にできているのかなと感じているところでございます。県内でも四国中央市が1年早く開設され、今は西条市・今治市にもできたのですが、新居浜市は相談や巡回業務がかなり充実されており、特に学校との連携が素晴らしく、支援が必要な全ての子どもを把握し、何らかの支援ができているのではないかと

<p>宮内委員</p>	<p>思っております。以上です。</p> <p>そうなる教育委員会だけではすまなくて、市の予算や市長への働きが非常に大変な重責になっているので、新居浜の特徴を市長にアピールしてこのまま推進していただきたい。発達支援課の支援を受けたいから新居浜に引っ越して来たという方が出てくると良いと思っていますのでこれからも頑張ってください。</p> <p>次に給食に関してですが、26ページの下から4行目では学識経験者の給食センターを充実せよというご意見、次の27ページの上から2行目には市内18校全部で整備されるようにという、自校調理というのを強く推進しているようにお見受けした別の学識経験者のご意見ですが、災害が起こった時の避難ということを考えるとどうしてもその学校に給食設備があると各学校の避難所での炊き出しが可能になるという観点も一つあると思います。自校調理がいいのか、給食センター調理がいいのか、教育委員会の中でも、市をあげて防災の立場からも取り組んでいただけたらと思います。以上です。</p>
<p>伊藤学校給食課長</p>	<p>ご意見承りまして、建設検討委員会に入ります前に、準備会でそのご意見を出させていただいたうえで審議してまいりたいと考えております。以上です。</p>
<p>三木委員</p>	<p>それに関連してよろしいですか。建設検討準備委員会は庁内委員によるとなっておりますが、構成の方々とはどんな方々なのか教えていただきたいと思っております。</p>
<p>伊藤学校給食課長</p>	<p>教育委員会事務局の管理職、学校給食会の理事、調理員部会の理事が準備会の中に入っております。</p>
<p>三木委員</p>	<p>その中に例えば保護者のご意見とか、地域のご意見とかこれから含めていく予定みたいなものはあるのでしょうか。</p>
<p>伊藤学校給食課長</p>	<p>検討準備委員会は検討委員会で審議する内容を求めていますので、検討委員会には市民代表の方、もしくは保護者代表の方に入ってくださいようには考えております。</p>

三木委員	<p>ありがとうございました。</p>
長野委員	<p>放課後子ども教室についてですが、少しずつ教室数も増えていき、参加する子ども達の数も増えていっているのですが、3年生までは放課後児童クラブがあって働く親は非常にありがたいが、4年生からは大変だという声をよく耳にします。放課後児童クラブについては社会教育課に変わり、教育委員会がより強く関わってできているのですが、放課後子ども教室までになると難しい面もあるかと思いますが、例えば公民館に任せるだとか、教育会でもやっているのですが、実際に実施してくれる人材を適切にというのはなかなか難しい部分があったり、広まっていけないという問題もたくさんあるかと思いますが、どういう形になるかわかりませんが教育委員会の方もより積極的に関わりを深めて、4年生からの子ども達も放課後親御さんが安心して仕事に行ったり、或いは預けて子ども達が活動できる場所を確保できるようにお願いしたらと思います。</p>
阿部教育長	<p>長野委員さんの要望だと思うのですが、我々教育委員会事務局としても、保護者支援の為に4年生以上というのも考えていないわけではありません。しかし、文科省から40人定員でと、それが小学校1～3年は愛媛県の場合は35人定員です。またそれがいろいろな諸問題から4～6年生、中学校1～3年生も35人定数というような話も出てきております。そうなってくると今の学校教室は従来の45人学級で作られて40人学級に変わりました。次に35人になってきた時に、学校によっては平成24年現在余裕教室がない学校が出てきております。そのような学校の放課後児童クラブは校舎外に建ててやっています。教室が足りないのに生徒数を増やしていくという通常の普通の学級が足りなくなっていくということもあって、校舎建築という事になりますと放課後児童クラブの教室以上の経費がかかります。今後の国の動き定数の動き等を見て検討していきたいというのが教育委員会の考えです。その中にただ4年生以上で、3年生までは在籍していましたが、障がいを持っている場合や、保護者の方がどうしても子どもを一人で家に置いていけない児童もおります。そのような時は教育委員会としてもやはり相談すべき内容であろうというかたちで、通常であれば3年生までですが障がいを持っているという状況、そのような場合は認めて、学期ごと障がい克服されていない場合は継続していくというような取組も</p>

<p>宮内委員</p>	<p>しています。全く受け入れていないという状況ではないのでご理解いただけたらと思います。</p> <p>余談ですが、神戸の研修の時に、山下教育企画課長がおっしゃっていましたが、今小学校1年生が法律上35人制度だが、それを2年生、3年生と文科省としては増やしていきたい。それは少子化でどんどん教師の数が減ってくるけれど、定員数からすると教師の数を減らさないといけないが、それを減らさないで40人クラスを35人クラスに少しずつ増やしていきたいというコメントでした。補足説明です。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>私の方から一つだけ質問させてください。学校給食について、19ページの自己評価のところですが、目標を下回る成果に留まったと自己評価をされているのですが、学識経験者のご意見の中でのお話の中で聞きましたら、一行目と二行目のところに老朽化が進んで修繕、更新の要望件数が多かったけれども、十分に要望に対応できていない状況であると書いていただいているのですが、自己評価の目標を下回ったという理由を教えてくださいましたらと思います。</p>
<p>伊藤学校給食課長</p>	<p>予算上やるべき予定の更新や修繕をやりたかったのですが、機械物でありますから古い順に更新していくというのが手順なのですが、それより先に新しいものが壊れたりする状況が出てきて、私どもで計画している更新計画がくずれ、前を向いて行かないという状況の自己評価で「D」とさせていただきました。ただ、評価委員さんの中ではその中でも順次やっていたので高い評価を受けているのは文書の通りです。以上です。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>予算計上をした時より予測できない故障等があったということですね。</p> <p>その他に何かございませんでしょうか。</p> <p>それでは、議案第31号について、ご承認いただけます方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。では、承認とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。事務局か</p>

阿部教育長	<p>ら説明をお願いいたします。</p> <p>お手元の生徒指導関係資料を見ていただきたいと思います。</p> <p><資料に基づき説明></p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、その他に移ります。「中学校選択制の申請状況について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
曾我学校教育課長	<p>お手元に「中学校選択制度」の結果につきましてお渡しいたしております。平成25年度中学校入学予定者が1,152名おりました。そのうち申請をしたのが71名、率としましては6.16%の方が申請をいたしました。一枚めくっていただいたらアンケート集計結果があります。</p> <p><資料に基づき説明></p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。ただ今の説明に対して、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、その他にご連絡等ございませんでしょうか。</p>
曾我学校教育課長	<p>先に議案とともに送付させていただいておりました、別子小中学校PTA会長からの、平成25年度新居浜市別子小中学校にかかる要望書をご覧いただけたらと思います。要望に対しまして、回答をいたしたいと思いますので、ご審議いただけますようお願いいたします。まず、別子小中学校の児童生徒の推移をご説明します。別子中学校は現在の3年生3名の生徒が卒業することに伴いまして、来年度は生徒数が0人ということで休校となる予定です。別子小学校は、現在小学校5年生の児童が6年生となり、新1年生1名が入学予定で1年生と6年生の2名となります。この状況の中、別子小中学校の関係者が集まり協議した結果として、次の要望書を受け取りました。</p> <p>要望書の内容といたしましては、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 従来からある「小規模特認校制度」を普及啓発し、別子山のよさを分かり、日本の原風景の中、別子小中学校で学習したい児童生徒を積極的に受け入れたいと思います。その際、市内一円から

	<p>通学できるようにスクールバス等の手段を講じていただきたい。</p> <p>2 上記1に関連して、学校施設・設備、また教員住宅（もし、定住の申し出等があった場合）等の修繕等が生じた場合は迅速に対応していただきたい。</p> <p>3 別子山が新居浜市と合併し10年となります。別子小中学校が今後も地域の核となり地域発展の一助となりうるように応援をお願いいたします。</p> <p>という3点でございますが、主旨といたしましては1にあります「小規模特認校制度」を拡充し、通学手段として市内一円から別子小中学校へスクールバスを導入してほしいということであるかと思えます。この内容について経過を説明させていただきます。</p> <p>今年度開催されました別子中学校校区の教育懇談会において、地元連合自治会、PTAの要望を受けましたが、一部保護者の反対があり実施は取りやめました。10月初め、PTA会長が来庁し、再度要望がありました。教育委員会としましては、保護者・地元が一致し協力を頂けないと対応できない。地元で話し合っほしい旨を伝え、要望の際は保護者連名でとお話しいたしました。去る10月26日、PTA会長が本要望書を持って来庁いたしました。その際、状況をお聞きいたしました。実際この要望書にはこのように書いておりますが、話し合いの結果としてみなさんの意見がまとまらなかったという話を伺いました。このようなことを踏まえ、小規模特認校制度を拡充し、通学手段として市内一円から別子小中学校へスクールバスを導入して欲しいという要望について、教育委員会としてご討議いただき採決をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。別子小中学校の筒井PTA会長からの要望につきまして、自由討論になりますので、審議ではなく先に討議をさせていただきます。皆さんのいろいろな質疑をいただきまして、その上で審議に入らせていただきます。それでは、ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。</p>
三木委員	<p>話を聞かれた時、PTA会長の気持ちと地域の方の気持ちはまだ一致していないということですが、これから話し合いの場を持たれたりする予定等は今のところ決まっていないのですか。</p>

曾我学校教育課長	<p>10月初めにPTA会長さんがいらっしゃった時に、地元で話し合って協力をいただきたい。そうでないとこの事業はできないと一度お帰りいただきました。その後話し合いをしたけどまとまらなかったというお話をいただいております。ということで、今後話し合いをしても一致する可能性は少ないのではないのでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>直接話を受けたのですが、PTAとして、またPTA会長として要望したい。しかし、保護者全員が賛成している訳ではないというPTA会長の話でした。</p>
三木委員	<p>もし、通いたいという生徒がいたとして、その生徒さんの状況によっても変わるのですか。</p>
宮内委員	<p>この前審議した子どもさん一人いらっしゃいましたよね。スクールバスで別子山まで連れて行くと、帰りのバスにうちの子を載せて帰ってほしいという人は出てこないのですか。誰でもいいから新居浜市内の子を別子山にスクールバスで連れて行くのなら、帰りは空きのバスが出るので、そのバスに自分の子を乗せて角野小学校に行かせたいというような意見も出てくるのではないのでしょうか。</p>
曾我学校教育課長	<p>前回話をした子どもさんについては、今現在では別子小学校へ行くという保護者の考えは確認しています。ただ、その保護者の方についても、一年目は別子に行くがその後は分からないというような話も聞いております。市内から別子にバスを出すのであれば、当然として帰りもという意見が出てくる可能性はあると思います。</p>
伊藤委員長	<p>参考までに教えていただきたいのですが、協力を得られた場合、予算措置、或いは希望者を募るなど、どのようなスケジュールになっているのでしょうか。</p>
寺田事務局長	<p>10月初め、要望に来られた時にはその協議の中で、通常通りのスケジュールでは難しいと伝えました。6月の教育懇談会で提案させていただいた時には、こちらから別子山へ上がる生徒の把握、予算の措置も含めて今のタイミングがぎりぎりですという話をしました。ただし、こちらからの通学の手段はスクールバスという事でお話をさせていただきました。スクールバスは、バスの手配や会社</p>

	<p>との契約など期間を要します。もし手段がタクシーであれば時間的な問題は何とかクリアできます。ただし、子どもの募集をするという事になると、この事業を来年度実施する前提でしないといけませんから、議会に対して説明が必要となりますが、それは何とか方法を考えるということで、地元でもう一度協議してくださいという話をさせていただきましたが、今の状況ではスケジュール的に困難な状況になっております。</p> <p>今までの説明を整理しましたら、予算的には来年当初では難しいスケジュールになっている。なおかつ、地元の方のみなさんの意見が一致している訳ではないので、来年、再来年の児童生徒数についても把握できない状況であるということですね。</p> <p>もし受け入れるとしたら、現地の小学校・中学校の地域にお住まいの方もそこへ行き、やはり地域の方もそれを支える前提の方がいいような気がします。もし他の地域から別子に行きたいという方がいたとしても、別子地域の協力があつたうえのことだと思いますし、行くという大きな選択をした結果、その行くことになった生徒さんがきちんとした教育を受けれるかどうかはその地域の方がきちんとその学校を大事にする事が見えてからの話だと思いますので、その地域の協力があつた上での事業であるべきだと私は思います。やはりその事業をどうしてもして下さいということであれば、地域での話し合いでどちらの方向にするのかということを決めていただいてからの方がいいのではないかと思います。</p> <p>私も三木委員さんの意見に賛成です。あくまでもその地域にとって学校が必要なのは事実であるし、学校がその地域の核となって存在するのも事実だと思うのですが、本当にその学校を地域の方みなさんが大事にしているのでしょうかと問い合わせをしても、いやその学校は…という雰囲気を私は感じるものですから、いろんな援助の手を差し伸べても、今回はうまくいくかもしれないが、また来年同じ問題が火を吹くかもしれない。その時に、限られたお金を出す必要があるのか、少し私は疑問に感じます。</p> <p>小規模特認校制度は、スクールバスで通学するということを制度に含んでいないのですね。</p>
伊藤委員長	
三木委員	
宮内委員	
長野委員	

阿部教育長	<p>こちらから親が連れて行って通うのについては何の問題もありません。ただ別子から親がこちらへ連れてくると言っても、別子小中学校がある以上は認められません。保護者がそれだけ車で連れて行くのは困難なことなので、公的に車を出せば行く子どももいるのではないか。という形の取組をしようと思った時になかなか理解を得られないという状況です。</p>
長野委員	<p>やはり同じような見解なのですが、そのような小規模特認校制度という本当の趣旨をしっかりと受け入れてからでないで公費で扱う事になってくると、市民全体に対してもそこにいろいろ問題があったりしてきた時に、説明がどうなのだろうというように感じます。保護者の方の気持ちもそれぞれわかる部分ではありますが、やはり制度的な事も都合のいいように変えていくのではなく、きちんとした線をきちんと守ったうえでのあくまでもみんなの理解を得て進める事業であるということを、しっかりと納得していただかないと難しいかと思しますので、地域の理解が十分そこまでいっていないようであれば、なかなか今回の件については難しいのではないのかと私は思います。</p>
伊藤委員長	<p>みなさんのご意見が出ましたので、討議を終えて審議に移らせていただいております。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
伊藤委員長	<p>それでは、筒井PTA会長さんに答えをお返しの必要がございますので審議の方に移らせていただきます。</p> <p>新居浜市立別子小中学校にかかる要望書につきまして、議案第32号といたしまして審議をさせていただきます。この要望書の受け入れにつきまして賛成される方挙手をお願いいたします</p> <p>(挙手なし)</p>
伊藤委員長	<p>否決される方は挙手をお願いします</p> <p>(全員挙手)</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。全員一致で不採択いたしましたのでご報告いたします。PTA会長さんは前向きな考えで要望書をお持ちい</p>

	<p>ただいたとは思いますが、地域の方のとの話し合いは続けていただきたいと思ひます。それでは、審議の方を終えさせていただきます。</p> <p>その他、ご報告や連絡事項等はございませんでしょうか。</p>
曾我学校教育課長	<p>先に教育委員さんにはご案内いたしておりますが、平成24年度新居浜市小中学校人権同和教育研究大会の巡回訪問でございますが、日時が11月20日になっております。ご多用のところ申し訳ありませんが、よろしくお願ひいたします。以上でございます。</p>
坂本次長	<p>図書館です。図書館のファイルをお渡ししていると思ひます。行事案内です。11月23日(金)祝日に図書館まつりを行います。ブックリサイクル、図書館見学、銅アートづくり、一日図書館を楽しんでいただくという催しです。もう一件、12月9日(日)東京児童文化協会主催で全国子ども読書推進フェスティバルということで、午前中にボランティアのお話会、午後に子どもと読書コーディネーター佐藤涼子さんの「読書で広がる子どもの世界」の講演会を行います。ぜひよろしくお願ひいたします。</p>
伊藤学校給食課長	<p>学校給食課です。学校給食費未納状況について報告いたします。お手元の資料をご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p>
阿部教育長	<p>新居浜出身の真斗さんという市政だよりのカットや「ナイチンゲール」という小学館の本の漫画も描いている人なのですが、その真斗さんが1986年から市政だよりにイラストを描き始め、そのイラスト集を整理しているということで送っていただきました。5冊いただきまして、図書館の方へ寄贈したいということですので、また市民の方に紹介していただけたらと思ひます。なお、この後ずっと続けて今2012年になっているので、そこまで全部整理していくということで7集、8集ぐらいまで続くそうです。ご報告しておきます。</p> <p>あと、神郷小学校の学力アップ実践研究事業の研究授業がありました。その冊子をお配りしておりますので、お目通しください。愛媛新聞にも目を通していただけたらと思ひます。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。その他、連絡事項等はございませんか。</p>

それでは、次回の定例会の日程を決定させていただきたいと思
います。12月の定例会は、12月6日木曜日の15時より開催させ
ていただきます。

それでは、平成24年第11回新居浜市教育委員会定例会をこれ
で閉会いたします。ありがとうございました。

新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。

委員名

委員名